

森のおくりもの 1月



ウソ (アトリ科)



イラスト:西谷理恵さん(白石市)

新年あけましておめでとうございます。今年も太白山自然観察の森をよろしく願いたします。また、自然観察センターでは、来館された皆様に、昨年よりもさらにたくさんお楽しみいただけますよう、スタッフ一同張り切ってお待ちしております。

(館長 菊池正行)

冬の森でみつけてみよう！

いろんな「まゆ・さなぎ」



冬の森では何が観察できるのでしょうか。木の枝先を見てみると・・・葉があるときには見つけられなかった繭（まゆ）が！「こんなところにいたのか」と思うような、いつも通る所にあつたりします。繭は「ここに生き物がいた」という証です。自然観察センターから「やすらぎの道」を散策すると確実に見つけられるものが下の絵の中に5つありますよ。ヒントをもとに散策して見つけてみてくださいね！

ふゆの生きものさがし

●空っぽの繭●



【ウスタビガ】

「やすらぎの道」の枝先にぶらさがっているよ。底には雨水を出す為の穴が開いているよ。

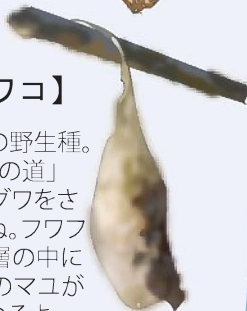
【クスサン】

この形から「スカシダワラ」とも呼ばれる。糸はとても丈夫！

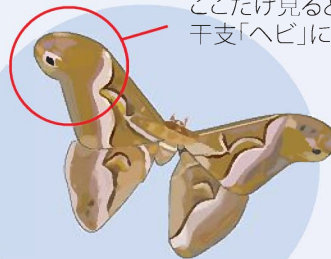


【クワコ】

カイコの野生種。「いていの道」のヤマグワをさがしてね。フワフワの外層の中に楕円形のマユが入っているよ。



●中で生きている繭と蛹●



ここだけ見ると、今年の干支「へび」に見えるね。

成虫の姿



【シンジュサン】

「蝶の野原」にいるよ。無事に羽化すれば、夏に綺麗な成虫が見られるかも！



【イラガ】

芝生広場にいるよ。模様はさまざま。



【クロアゲハ】

案内板の下についているよ。近くに食草がないので、幼虫が長い旅をした事が分かるよ。

夏にこんなのがたくさん見られるよ

12月からセンター裏庭に恒例のバードテーブル（野鳥の餌台）を設置しました。今年も常連のヤマガラ、シジュウカラをはじめ、ヒヨドリ、アオジ、スズメなどたくさんの野鳥たちがにぎわいを見せています。

そんな野鳥たちをみていると行動パターンも様々で、例えばヤマガラ、シジュウカラなどはバードテーブルにあるヒマワリを、ひとつひとつ別の場所に運び、そこで種を嘴（くちばし）で割って中身を食べています。周辺にはその殻が散乱しているのでよくわかります。

アトリやシメなどもヒマワリが好物で、彼らはバードテーブルを占領するようにその場に居座り、バリバリと嘴ですり割るようにして殻の中身を食べます。嘴も種を割って食べるのに適した形をしています。

環境や種類によって様々な姿をみせてくれる野鳥たち。そんな野鳥たちをこの冬はゆっくりと観察してみるとまた意外な発見があるかもしれません。

バードテーブルに集まる小鳥たち



ヤマガラ

全長 14 cm
ヒマワリなどの種子を嘴
でたたき割って食べる。



シジュウカラ

全長 15 cm
胸の黒い帯が特徴。
太い個体が雄。雌は雄
に比べて細い。



ヒヨドリ

全長 28 cm
餌台ではリンゴやミカン
が大好物。



スズメ

全長 14 cm
人の住んでいるところ
にはほとんど生息する。
ヒエ・アワなどが好き。



アトリ

全長 16 cm
冬鳥として日本にやっ
てくる。群れで行動する。
草や木の種子を食べる。



カシラダカ

全長 15 cm
冬鳥として日本にやっ
てくる。頭頂部にある
換羽が逆立っているの
が特徴。



アオジ

全長 16 cm
警戒心が強いのかなかなか藪
から出てこない。
夕方ぐらいまでエサを探して
いる。



アカハラ

全長 24 cm
胸からわき腹にかけ
てオレンジ色が特徴。
単独でやってくる。

この他にもたくさんの野鳥たちがやってきます。【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー^花木もれびBLOG



略してコモブロ 第8回『落ちない葉っぱ』

イヌブナ
(ブナ科)



葉の両端が
くると巻く。

あけましておめでとうございます。今年も「コモブロ」をよろしくお祈りします。

カシワ
(ブナ科)



大きな枯れ葉が
目につく。

さて、これを読んでいただいている方の中には、受験生の方や受験生を持つご家族の方もいらっしゃると思いますので、新年第1話目は、縁起良く“落ちない”話から

始めたいと思います。

冬枯れの森を歩くと、枯れ葉を付けたままの樹木が目につくことがあります。太白山周辺でそのような木は、ヤマコウバシ、カシワ、イヌブナ、チドリノキがあります。

多くの落葉広葉樹が、冬になるとその名のとおり葉を落とす中で、これらの樹木は葉が落ちずに付いたままです。

落葉広葉樹の間は、秋になって日照時間が短くなり、気温が低くなると、葉柄の付け根に離層（“りそう”と読みます）という細胞を作り、そこから落葉します。落葉は、樹木が冬の低温と乾燥に耐えるために進化して得た性質なのです。離層の形成が不十分で葉をスパッと落とせない落葉樹たちは、暖かい地方の樹木が、寒い気候に適応するために進化している真っ最中なのでは、と考えられています。

ヤマコウバシ
(カバノキ科)



薄く透ける
枯れ葉がキレイ。

この先、何百年先か何百万年先かわかりませんが、進化してキレイに落葉するカシワやヤマコウバシが現れるかも知れません。木々も日々、努力？を重ねています。受験生の方もそうでない方も、寒さに耐える木々を見習って悔いのない毎日を送りましょう！

チドリノキ
(カエデ科)



チリチリの
枯れ葉がつく。

自然観察の森からのお知らせ

自然観察の森では、生き物が自然に増えていく森づくりを目指して環境を管理しています。その一環として、「やすらぎの道」を中心に、密生したササ類やつる植物を刈り払う作業を始めています。森の中が明るくなり風通しが良くなることで、様々な生き物が暮らしやすくなります。でも、ヤブが好きな生き物（ウグイスやルリビタキなど）もいますので、意図的に一部のヤブを残してあります。

また、枯れて倒壊が予測される危険な樹木の伐採作業も始まりますので、来園者の皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがどうかご了承下さい。

危険木には十分注意をしておりますが、風の強い日などは、頭上からの枯れ枝等の落下に気をつけて自然観察を楽しんで下さい。

【レンジャー：高橋千尋】

今年も太白山自然観察の森でお待ちしております！

新しい年がやってきました。今年もよろしくお願いいたします。

太白山自然観察の森は、年末から完全に真冬の森の様相となっております。しかしながら、このような真冬においても、自然観察センターでは、冬の森の楽しみ方など、たくさんの情報を取り揃えて皆様をお待ちしております。ぜひお越しいただき、真冬の自然観察の森の楽しみ方のヒントにいただければと願っております。

さて、先日、自然観察の森の隣接地で、写真のようなキノコを見つけて持ってこられた方がおりました。柄の長さとおさがボールペンと同じくらいで、傘の部分の直径が7センチメートル前後と、真冬のキノコにしては大きいものでありました。さて、このキノコはいったい何でしょう。

ここ1年半ほどの間、当誌「森のおくりもの」をご覧になった方は、「もしかして」と思いあたるかもしれません。そう、そのとおりです。「森のおくりもの」にも何度か登場した「エノキタケ」なのです。ただし、今回は、珍しく

大きいものであったので、あえて再び取り上げてみました。

野菜売りのエノキタケと大きさを比較していただければ、その珍しさがお分かりいただけるかと思えます。当然のことながら、色も野菜売りのエノキタケとはまったく異なります。



冬でもキノコの観察をしていただけたら、意外性がありけっこう楽しいと思えます。「エノキタケ」に限らず、園内で冬のキノコを見かけたら紹介したいと思えます。昨年も探してはいたのですが、残念ながら発見に至らず紹介はできませんでした。今年もがんばって探してみたいと思っております。

【館長：菊池正行】

1月のイベント

14日(祝)・26日(土) 10:00~13:30

『歩こう雪の森・さがそうアニマルサイン』

雪の上に残された、動物たちの生活痕跡を探しながら、レンジャーが冬の森をご案内します。午後からはレンジャーが撮り貯めた動物の写真を見ながらなごみましょう。

- 集合** 自然観察センター
- 参加費** 無料
- 持ち物** 暖かく動きやすい服装とクツ、昼食、飲み物、など
- 定員** 各回とも先着10名
- 申込み** 平成25年1月8日(火) 午前9時から電話受付開始



19日(土) 13:30~15:00 森の講話会

『森とのつきあい方 -人と野生動物の共通感染症について-』

森で野鳥の羽や動物のフンを見つけたときどうしていますか？ 普段何気なく観察している野鳥や動物と人との共通感染症について、仙台市衛生研究所より専門家をお迎えして解説していただきます。

- 集合** 自然観察センター
- 参加費** 無料
- 定員** 30名程度
- 講師** 仙台市衛生研究所 微生物課 菅野敦子氏
- 申込み** 自然観察センター窓口にて受付中



毎週日曜は 『ガイドウォーク』の日！

1月のテーマは『冬越しのいきものたち』です

実施日：6日、13日、20日、27日

10:00~11:30(1~3月は午前中のみ開催)

◎申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

1月の休館日

1~4日、
7日、15日、
21日、28日

◎14日は祝日のため
15日が休館日です。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよっ！

※最近、観察路や自然観察センター、駐車場などで落し物が目立ちます。センターで保管していますので、心当りの方はセンターまでどうぞ。

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「社のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年1月号(毎月1回5日発行)

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

◎定期購読のお知らせ：住所・氏名・電話番号と何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して自然観察センターまでお申込下さい。